

令和 3 年 7 月

【沖縄県がんセンター がん診療連携協議会 各位】

南部徳洲会病院 放射線治療科

がん患者の就労支援を目的とした夜間放射線治療開始のお知らせ

近年、国内では高齢化社会を迎えがん治療のニーズは拡大の一途である。特に手術・薬物療法と併せて治療の三本柱の一つである放射線治療は、低侵襲かつ高い局所効果を持つ特徴から根治から緩和的照射まで幅広い適応があり重要性が高まる一方である。しかし乳がんや前立腺がんを含め、標準治療として 2 ヶ月近く連日の通院が必要な場合もあり、特に通常の日勤業務にあたる現役世代の患者にとっては長期間勤務の時間調整を迫られ、残念ながら治療を受けるために退職を余儀なくされるケースも少なからずあった。

南部徳洲会病院は 2012 年から放射線治療を開始し、以後治療件数が年次増加し 2020 年には 2 台目の治療装置を導入した。沖縄県内では琉球大学病院に次ぐ治療件数を実施しており、本年 7 月からは放射線治療医が 1 名赴任したことで常勤医師 3 名体制となった。

これまで当放射線治療科では、現役世代の患者や送迎する方の就労支援を目的として、県内で唯一朝 7 時から早朝照射を実施してきた。しかし県内の治療施設はすべて 17 時までには終了するため、就業時間後に治療を受けることはできなかった。そこで当科では、今回治療時間枠を 20 時まで拡大して対応することを決定した。

早朝夜間の照射を実施することで、より一層沖縄県のがん治療に貢献していきたい。

放射線治療の時間枠： 現 7-17 時 → **新 7-20 時**（最終受付 19 時）

文責：南部徳洲会病院 放射線治療科
医長 橋本成司、医長 眞鍋良彦、統括部長 平安名常一

アフターファイブ治療 はじめます

令和3年8月Start!

『仕事を休まずに
放射線治療を受けたい。』
の聲に答えます！

治療枠拡大！
7～17時 ⇒ **7～20時**

 南部徳洲会病院

南徳 放射線治療

